

19-22 資本の過剰生産と商品の過剰生産の法則

「資本の過剰生産」とは、「過大な規模での再生産のことであり」、「生産物のうちの過大な部分が、…その所持者の私的欲望をみたすことにではなく、彼のために抽象的な社会的な富を…資本をつくりだすことに…あてられるということである。」

商品の「過剰生産はとくに、次のような資本の一般的な生産法則を条件としている。すなわち、現存する・市場の・あるいは支払能力ある欲望の・制限を顧慮することなく、生産力(…)に応じて生産するという、このことを再生産と蓄積との不断の拡大・…・によって遂行するという、同時に他方では生産者大衆が欲望の平均的な限度に制限されたままであり、また資本主義的生産の体質からして制限されたままであらざるをえないということ、——過剰生産はこのような法則を条件としているのである。」

⑦-[107]P153~157 (マルクス『剰余価値学説史』Ⅱ)